



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月3日

上場会社名 株式会社ユー・エス・エス 上場取引所 東・名
 コード番号 4732 URL <http://www.ussnet.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 之弘 (TEL) 052 (689) 1129
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役統括本部長 (氏名) 山中 雅文 配当支払開始予定日 ー
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	15,348	8.1	6,150	25.6	6,098	19.5	3,242	9.1
22年3月期第1四半期	14,203	△24.0	4,895	△30.8	5,103	△28.5	2,972	△20.6

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	109	60	—	—
22年3月期第1四半期	97	18	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年3月期第1四半期	137,049	116,703	116,703	84.9	3,956	84		
22年3月期	142,164	118,390	118,390	83.1	3,970	03		

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 116,368百万円 22年3月期 118,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—		72	50	—		95	50	168	00
23年3月期	—									
23年3月期(予想)			91	00	—		91	00	182	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	29,600	3.1	11,100	10.7	11,200	8.2	6,180	6.5	209	50
通期	60,900	1.8	23,600	7.6	23,800	5.7	13,500	6.2	458	34

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	31,325,000株	22年3月期	32,695,982株
23年3月期1Q	1,915,492株	22年3月期	2,936,474株
23年3月期1Q	29,585,715株	22年3月期1Q	30,590,295株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

わが国の自動車流通市場は、平成21年4月より政府の経済対策として実施されたエコカー減税、補助金制度や、最初の登録から13年に達した車両を廃車にし、エコカーへの買替えを促進するスクラップインセンティブの効果により、引き続き新車販売は堅調に推移しました。一方、中古車登録台数は、平成20年10月以降21か月連続で前年同月実績を下回りました。この結果、新車登録台数は1,157千台（前年同期比20.8%増）、中古車登録台数は1,583千台（前年同期比3.2%減）となりました。（台数は（社）日本自動車販売協会連合会、（社）全国軽自動車協会連合会調べ）

このような経営環境のなか、U S Sグループの当第1四半期連結累計期間の売上高は15,348百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は6,150百万円（前年同期比25.6%増）、経常利益は6,098百万円（前年同期比19.5%増）となり、四半期純利益は3,242百万円（前年同期比9.1%増）となりました。なお、セグメント別の状況は次のとおりであります。

オートオークション

オートオークション事業は、出品台数574千台（前年同期比0.3%減）、成約台数346千台（前年同期比7.5%増）となり、成約率は60.3%（前年同期実績56.0%）となりました。さらに、一部のオークション会場において手数料体系の見直しを実施したことや、インターネットライブによる落札件数が増加したことなどにより、手数料単価が上昇し、オークション手数料収入は増加しました。また、前年同期と比較して、減価償却費やのれんの償却額が大幅に減少したほか、オークションシステム機器のリースアップなどもあり、大幅な増益となりました。

この結果、外部顧客への売上高11,056百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益5,901百万円（前年同期比25.5%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」は、取扱台数が減少したことなどから、減収減益となりました。

事故現状車買取販売事業は、前年並みの台数を取り扱うことができましたが、台当たり利益が低下したこともあり減収減益となりました。

この結果、外部顧客への売上高2,836百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益112百万円（前年同期比19.7%減）となりました。

その他

株式会社アビジは、廃自動車等の解体処理の取扱量が増加したことなどから、増収増益となりました。

株式会社U S S東洋は、高付加価値製品である弾性舗装用ゴム製品の取扱量が増加したことなどから、増収増益となりました。

この結果、外部顧客への売上高1,455百万円（前年同期比69.3%増）、営業利益105百万円（前年同期実績 営業損失28百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は137,049百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,114百万円減少しました。これは、現金及び預金が3,968百万円減少したことや、オークション貸勘定が989百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は20,346百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,426百万円減少しました。これは、オークション借勘定が1,622百万円減少したことや未払法人税等が2,770百万円減少したのに対し、資産除去債務に関する会計基準の適用により資産除去債務が766百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は116,703百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,687百万円減少しました。これは、自己株式を2,147百万円取得したのに対し、利益剰余金が400百万円増加したことなどによるものであります。なお、自己株式の消却により、資本剰余金および自己株式がそれぞれ9,018百万円減少しております。

<キャッシュ・フローの状況>

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して3,968百万円減少し、25,713百万円となりました。なお、当第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,061百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5,532百万円(前年同期比8.4%増)、減価償却費及びその他の償却費1,142百万円(前年同期比17.9%減)、法人税等の支払額5,066百万円(前年同期比18.8%増)などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は707百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出428百万円(前年同期比46.6%減)などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は5,321百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出2,147百万円(前年同期実績-百万円)、配当金の支払額2,842百万円(前年同期比12.6%増)などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の自動車流通市場につきましては、政府の経済対策による「エコカー補助金制度」が9月末で終了することもあり、新車販売、中古車販売ともに先行き不透明な状況にあります。これらの状況を踏まえ、平成23年3月期の業績予想につきましては、前回公表(平成22年5月11日発表)の業績予想から変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、当連結会計年度に係る年間の減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

② 特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益および経常利益はそれぞれ5,513千円減少し、税金等調整前四半期純利益は521,907千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は766,120千円でありませぬ。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,713,556	29,681,673
オークション貸勘定	4,654,351	5,643,946
受取手形及び売掛金	2,534,028	2,885,270
たな卸資産	774,642	841,841
その他	2,031,132	1,254,733
貸倒引当金	△84,022	△84,868
流動資産合計	35,623,688	40,222,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,642,069	35,019,978
土地	52,812,529	52,812,529
建設仮勘定	397,032	13,232
その他（純額）	4,056,856	4,358,813
有形固定資産合計	91,908,488	92,204,553
無形固定資産		
のれん	255,862	357,185
その他	1,068,166	1,140,884
無形固定資産合計	1,324,029	1,498,069
投資その他の資産		
投資その他の資産	8,291,973	8,341,133
貸倒引当金	△98,224	△102,284
投資その他の資産合計	8,193,749	8,238,849
固定資産合計	101,426,266	101,941,472
資産合計	137,049,955	142,164,069
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	4,831,177	6,454,150
支払手形及び買掛金	561,188	577,341
短期借入金	203,273	399,920
未払法人税等	1,583,958	4,354,300
引当金	707,748	445,816
その他	5,437,052	5,203,830
流動負債合計	13,324,397	17,435,359
固定負債		
長期借入金	306,180	356,160
引当金	102,094	91,787
資産除去債務	766,120	—
その他	5,848,094	5,889,860
固定負債合計	7,022,488	6,337,807
負債合計	20,346,886	23,773,167

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881,312	18,881,312
資本剰余金	18,973,823	27,992,143
利益剰余金	95,968,411	95,567,831
自己株式	△12,511,500	△19,382,433
株主資本合計	121,312,047	123,058,853
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,091	59,531
土地再評価差額金	△4,972,243	△4,972,243
評価・換算差額等合計	△4,943,152	△4,912,712
新株予約権	23,644	18,206
少数株主持分	310,529	226,555
純資産合計	116,703,068	118,390,902
負債純資産合計	137,049,955	142,164,069

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	14,203,560	15,348,575
売上原価	6,550,205	6,643,191
売上総利益	7,653,354	8,705,383
販売費及び一般管理費	2,757,444	2,554,720
営業利益	4,895,909	6,150,662
営業外収益		
受取利息	1,821	1,393
不動産賃貸料	38,269	42,787
複合金融商品評価益	137,900	—
雑収入	38,661	30,785
営業外収益合計	216,653	74,966
営業外費用		
支払利息	4,581	2,375
不動産賃貸原価	3,822	3,625
複合金融商品評価損	—	117,400
雑損失	998	3,241
営業外費用合計	9,403	126,641
経常利益	5,103,159	6,098,987
特別利益		
固定資産売却益	1,730	3,480
貸倒引当金戻入額	6,362	15,335
その他	213	—
特別利益合計	8,306	18,815
特別損失		
固定資産売却損	461	9
固定資産除却損	5,133	11,496
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	516,394
その他	—	57,334
特別損失合計	5,595	585,235
税金等調整前四半期純利益	5,105,870	5,532,568
法人税等	2,147,498	2,205,981
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,326,586
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△14,502	83,973
四半期純利益	2,972,875	3,242,613

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,105,870	5,532,568
減価償却費及びその他の償却費	1,392,046	1,142,373
のれん償却額	198,044	101,323
貸倒引当金の増減額(△は減少)	32,222	△4,906
賞与引当金の増減額(△は減少)	272,248	261,932
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△11,434	10,307
受取利息及び受取配当金	△1,942	△1,527
支払利息	4,581	2,375
複合金融商品評価損益(△は益)	△137,900	117,400
投資有価証券評価損益(△は益)	—	56,707
有形固定資産除売却損益(△は益)	3,815	△2,223
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	516,394
オークション勘定の増減額(△は増加)	△339,085	△633,377
売上債権の増減額(△は増加)	402,837	351,241
仕入債務の増減額(△は減少)	△68,650	△16,153
預り金の増減額(△は減少)	1,027,160	393,127
その他	△471,637	△699,549
小計	7,408,176	7,128,013
利息及び配当金の受取額	1,605	1,477
利息の支払額	△3,057	△2,127
法人税等の支払額	△4,265,372	△5,066,142
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,141,351	2,061,220
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△802,231	△428,036
有形固定資産の売却による収入	37,502	4,723
無形固定資産の取得による支出	△87,364	△102,687
投資有価証券の取得による支出	△100,000	—
長期前払費用の取得による支出	△12,852	△178,446
その他	5,200	△3,534
投資活動によるキャッシュ・フロー	△959,745	△707,981
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△130,000	△196,647
長期借入金の返済による支出	△34,980	△49,980
預り保証金の預りによる収入	54,970	50,171
預り保証金の返還による支出	△25,805	△23,427
自己株式の取得による支出	—	△2,147,386
配当金の支払額	△2,523,699	△2,842,033
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△79,914	△112,053
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,739,429	△5,321,355
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△557,823	△3,968,116
現金及び現金同等物の期首残高	18,445,871	29,681,673
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,888,048	25,713,556

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

（単位：千円）

	オートオーク ション事業	中古自動車等 買取販売事業	その他の事業	計	消去または 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,313,779	3,030,179	859,600	14,203,560	—	14,203,560
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	111,195	—	606	111,801	△111,801	—
計	10,424,974	3,030,179	860,207	14,315,361	△111,801	14,203,560
営業利益（または営業損失）	4,703,735	140,349	△28,603	4,815,481	80,427	4,895,909

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、オートオークション運営およびオークションに係る各種サービスの提供、中古自動車等の買取販売、リサイクル事業などを展開しており、事業内容ごとに戦略を立案し、事業を行っております。

したがって、当社は、事業内容等を基礎としてセグメントを構成しており、「オートオークション」、「中古自動車等買取販売」の2つを報告セグメントとしております。

「オートオークション」は中古車取扱事業者を会員とするオートオークションの運営、通信衛星回線およびインターネット回線によるオートオークション接続サービス、中古自動車情報サービスの提供、オートオークション専用端末の販売、オートオークションの出品車・落札車の運搬および引廻し、オートオークション会員向け金融サービスの提供を主な事業としております。

「中古自動車等買取販売」は中古自動車および事故現状車の買取販売を主な事業としております。

② 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシヨ	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,056,431	2,836,592	13,893,023	1,455,551	15,348,575	—	15,348,575
セグメント間の内部売上高または振替高	115,784	61	115,845	439	116,284	△116,284	—
計	11,172,215	2,836,653	14,008,868	1,455,991	15,464,860	△116,284	15,348,575
セグメント利益	5,901,445	112,675	6,014,121	105,639	6,119,760	30,902	6,150,662

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社USS東洋の廃ゴムのリサイクル事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額30,902千円には、セグメント間取引消去30,231千円、のれんの償却額670千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

① 自己株式の取得

当社は、平成22年5月11日開催の取締役会において自己株式を取得することを決議し、普通株式350,000株を取得いたしました。これにより、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,147,386千円増加しております。

② 自己株式の消却

当社は、平成22年5月11日開催の取締役会において自己株式を消却することを決議し、平成22年5月31日付で普通株式1,370,982株の消却を行いました。これにより、当第1四半期連結累計期間において資本剰余金および自己株式がそれぞれ9,018,319千円減少しております。

4. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	22年3月期	23年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	142	153	8.1	609
営業利益	48	61	25.6	236
経常利益	51	60	19.5	238
当期純利益	29	32	9.1	135

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	22年3月期	23年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	27	28	4.1	114
成約手数料	24	26	10.3	103
落札手数料	32	35	9.5	137
商品売上高	1	2	35.6	4
その他の営業収入	17	17	0.1	68
オートオークション計	103	110	7.2	428
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	20	18	△8.5	84
事故現状車買取販売	9	9	△1.9	39
中古自動車等買取販売計	30	28	△6.4	123
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	6	12	77.6	43
廃ゴムのリサイクル	1	2	37.3	12
その他計	8	14	69.3	56
合計	142	153	8.1	609

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	22年3月期	23年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	8	5	△40.3	50
完工ベース	4	1	△73.4	50
減価償却費	13	11	△18.1	46

(注) 従来、設備投資額の対象を有形固定資産のみとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間より無形固定資産を対象に加えております。また、前年同期実績および通期予想につきましても当四半期連結会計期間と同一の方法による表示へ変更しております。